

東大阪中央ロータリークラブ

創 立 昭和47年2月20日
例 会 日 毎週月曜日 12:30~
例 会 場 所 シェラトン都ホテル大阪
事 務 所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号
TEL. 06 (6772) 2320
FAX. 06 (6772) 2327
E-mail:hrcr@at.wakwak.com



会 長 切 石 博 之
会長ノミニー 浅 野 光 男
副 会 長 宮 崎 康 治
幹 事 細 川 勝 治
会報委員長 岡 田 忠 彦

BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS

地域を育み大陸をつなぐ

2010~2011年度 国際ロータリー会長 レイ・クリングスミス

第 1781 例会 平成 22 年 9 月 16 日 (木曜日) 第 10 号

本日の例会

9月16日(木)第3例会

- ◎移動例会 「秋の家族会」
二十一世紀歌舞伎組公演及び食事会
◎9月27日(月) 上記の振替休会

次回の例会

10月4日(月)第1例会

- 「松本新太郎ガバナー公式訪問」
◎卓 話 「ガバナー所感」
国際ロータリー第2660地区
2010~2011年度ガバナー 松本新太郎様
◎本日の献立 軽食

前回の例会記録

9月13日(月)第2例会

- ◎ビジター 八尾中央RC 林 明雄氏
◎ゲスト 東大阪みどりRC
ガバナー補佐 山片重房氏
東大阪東RC
ガバナー補佐エレクト 岡田耕治氏

会 長 挨拶

会長 切石博之

さすがの猛暑も、少しやわらぎ始めた様であります。本日は、当地区のガバナー補佐 山片様・ガバナー補佐エレクト 岡田様をお迎えしての例会であります。また、山片様にはこの後、卓話講師として「四大奉仕と手続要覧」のテーマにてご講演を頂く予定でありますし、例会終了後には「クラブ協議会」にもご両所のご臨席を頂く事になっております。本日が有意義な日となります様、宜しくお願い申し上げます。

さて、先週は大阪の言葉の言い回しについて話しましたが、今日は「おまけ・値切り」の感覚を申し上げたいと思います。

ショッピング、すなわち買物は男も女も楽しいものであります。買物のとき、正札からいくら安く買えたかが、楽しみであり、売り手と買い手の腕の見せ所であり、理不尽でない程度に値切る事は、お互いのコミュニケーションであり、大阪では日常茶飯時に見られる風景でありました。

しかし、今は売り手と買い手の会話ができる店舗が激減してしまい、大型店舗という味気ない買物に慣らされてきてしまいました。大阪の楽しい風土が消えつつある様に思います。

「おっさん・おばはん」「これなんぼにしてくれる」「仰山まけといてや」「量おいめに、おまけしといてや」そういえば使わなくなっていました。

今日の俳句は

秋の蚊を南無阿弥陀仏打ちにけり 東光
夏の蚊はうるさいと云う感覚ですが、さすがに秋の蚊には「哀れ」を感じます。

幹 事 報 告

幹事 細川勝治

1. 本日の例会終了後、第3回クラブ協議会開催にあたり、理事・役員・各委員会委員長各位、入会5年未満の方はご出席の程、宜しくお願い致します。クラブ協議会終了後、第3回定例理事・役員会を開催致します。
2. 次週、9月20日(月)は敬老の日で休会、9月27日(月)は16日(木)秋の家族会(移動例会)

の振替休会になります。ご確認をお願い致します。

- 3. 次回例会、10月4日(月)はガバナー公式訪問です。全員出席となりますよう、ご協力の程、宜しくお願ひ致します。10月4日(月)、例会終了後、第4回定例理事・役員会を5階カトレアの間で開催致します。理事・役員各位には宜しくお願ひ致します。
- 4. 「ロータリーの友」英語版の注文申込書を回覧致します。
- 5. 他クラブ例会変更及び休会の案内を掲示しています。

出席報告

松浦委員

本日の会員数	39名
本日の出席者数	35名
本日の出席規定適用免除会員	11名
本日の出席率	97.22%
8月30日の修正出席率	88.24%

委員会報告

国際奉仕委員会

副委員長 瀧田浩彦

フィリピンから浄水器の報告がきました

ミャンマーでサイクロクリーンでの浄水が、ジャパンハートでの吉岡先生の手術で大活躍の様子を、湯谷会員から聞いて、紹介して貰った日本ベシック(株)のサイクロクリーンを、フィリピンのFH(国際飢餓対策機構)のデビーさんに1台寄贈しました。思わぬ火災で900戸が焼け、1,575家族が被災し、きれいな水をタイミングよく供給出来ましたとの感謝の手紙がデビーから送られてきました。

現地の状況の写真が添付されていますので、回らんさせていただきます。

卓話

「四大奉仕」と「手続要覧」

RI第2660地区IM第4組

ガバナー補佐 山片重房様

かつて我が国のロータリー界では「四大奉仕」を「定款第4条“綱領”の4項目」と関連づけて解説されるのが一般的でした。その根拠は「手続要覧」の第4章〔ロータリーのプログラム一般〕、第5章〔職業奉仕〕、第6章〔社会奉仕〕、第7章〔国際奉仕〕の冒頭に次の関係を明解に示す記述があったからです。

クラブ奉仕	-----	定款第4条第1
職業奉仕	-----	同 第2
社会奉仕	-----	同 第3
国際奉仕	-----	同 第4

この関係に疑問をもった私たちは、英文のManual of Procedure と邦文「手続要覧」を発行初版〔それ

ぞれ1954年、1960年〕に遡って調査しました。

すると創刊以来〔職業奉仕〕と定款第4条第2、〔社会奉仕〕と決議23-34/第4条第3、〔国際奉仕〕と第4条第4との関係が記されていましたが、1984年以降、これが一気にエスカレートして、第4章の冒頭に次のような文章が記載されるようになりました。

「ロータリーのプログラムは、定款第4条、綱領の中に示されている。即ち;(条文全文の掲載:省略) ロータリーの奉仕の四「部門」は、この綱領の各項を反映している;クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕・・・)。

・・・ところが、2004年版の「手続要覧」第4章、第5章、第6章の記述から“綱領”の4項との関連を示す文章が突如、何の説明もなく一斉に、削除されました。(内容から見て、これは当然のことですが)、それでは、RIは過去20年(一部は50年)間にわたって、とんでもない間違った情報を世界に向けて発信してきたことになるのでしょうか。

次に、2007年に定款第5条として「四大奉仕」という条文が挿入されたことはよくご存知のとおりです。その第5条2.「職業奉仕」の文章に、3年前に削除した筈の定款第4条第2の文言を再登場させています。条文をご覧下さい。間違った相互関係を除外したのここで再構築する理由が分かりません。

また定款第4条第4では、国際奉仕は“団体”活動あることを謳っていますが、第5条4.では、会員個人の活動であると述べています。このような曖昧な文章が「定款」であっては困るのです。

このように、近年のRIの文章には信用がかけない上に、責任の所在も明らかでない部分があります。

2010~2011年度 第3回定例理事役員会議事録

日時 平成22年9月13日(月)

第3回クラブ協議会終了後

場所 シェラトン都ホテル大阪 3階 春日の間

出席理事 切石博之 浅野光男 宮崎康治 細川勝治
林 孝信(欠) 西村啓三 小林成共
岩崎史朗 小川高弘 松浦永郁 大石忠克
佐井義昌 計11名

決議事項

- 1. 第1回ゴルフ同好会 10月7日(木) 承認
- 2. プログラム 卓話講師の件 不承認
- 3. 40周年に向けてのニコニコ袋での資金集めの件 継続審議